

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況(令和3年3月31日時点)

団体名	業種名	事業名	施設名
新発田市	下水道事業	公共下水道	—

実施状況

抜本的な改革の取組							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	広域化等	民間活用				
			指定管理者制度	包括的民間委託	PPP/PFI方式の活用	地方独立行政法人への移行	
		●					

抜本的な改革の取組状況

取組事項		(下水道事業)広域化等																
実施済	●	(実施類型)		(取組の概要及び効果)		(実施(予定)時期)												
		<table border="1"> <tr> <td>汚水処理施設の統廃合</td> <td>●</td> </tr> </table>	汚水処理施設の統廃合	●	<p>公共下水道(新発田地区)を流域関連公共下水道として整備・供用開始(H14年度)し、処理場建設経費5,000百万円、年間運営経費100百万円の削減となった。農排(福島・米倉)地区の汚水について、流域関連公共下水道へ接続を実施(H29年度・R元年度)し、農排処理場年間運営経費12百万円×2箇所の削減となった。*試算では米倉地区の公共下水道への接続工事費は113百万円、既存農排処理施設の更新工事費は77百万円であった。</p>		平成											
		汚水処理施設の統廃合	●															
<table border="1"> <tr> <td>処理場廃止あり</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>処理場廃止なし</td> <td></td> </tr> </table>	処理場廃止あり	●	処理場廃止なし		<table border="1"> <tr> <td>公共下水・流域下水の統合</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>公共下水同士</td> <td></td> </tr> <tr> <td>農業排水・公共下水との統合</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>特環施設と公共下水との統合</td> <td>●</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> </table>	公共下水・流域下水の統合	●	公共下水同士		農業排水・公共下水との統合	●	特環施設と公共下水との統合	●	その他		14	10	1
処理場廃止あり	●																	
処理場廃止なし																		
公共下水・流域下水の統合	●																	
公共下水同士																		
農業排水・公共下水との統合	●																	
特環施設と公共下水との統合	●																	
その他																		
実施予定		<table border="1"> <tr> <td>汚泥処理の共同化</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持管理・事務の共同化</td> <td></td> </tr> <tr> <td>最適な汚水処理施設の選択(最適化)</td> <td>●</td> </tr> </table>	汚泥処理の共同化		維持管理・事務の共同化		最適な汚水処理施設の選択(最適化)	●	年	月	日							
汚泥処理の共同化																		
維持管理・事務の共同化																		
最適な汚水処理施設の選択(最適化)	●																	
検討中	→	(取組の概要)		(検討状況・課題)														